

情報公開用文書（茅ヶ崎市立病院で実施する医学系研究）

西暦 2026年 2月 14日 作成

<p>■研究課題名</p>	<p>単孔式/双孔式ロボット支援胸腔鏡下手術における後ろ向き研究口</p>
<p>■研究の対象</p>	<p>2025年5月から2026年3月の間に、肺癌あるいは前縦隔腫瘍に対して根治目的の手術を胸腔鏡下又は、ロボット支援下で実施された全患者。</p>
<p>■研究目的・方法</p>	<p>【目的】2018年よりロボット支援下肺切除が保険収載され、新しい術式として保険診療で行われるようになりました。しかし、現在ロボット支援下肺切除術における創部は4から5箇所が必要であり、従来の胸腔鏡手術に比べて多くなっているのが現状です。そこで当院では、1つ或いは2つの傷で行う、単孔式/双孔式ロボット支援下手術を行った患者さんの周術期と術後経過を評価することで、単孔式/双孔式ロボット支援手術の安全性や有用性を明らかにしたいと考えています。この研究により、単孔式/双孔式ロボット支援手術による安全性や、適応の拡大が示されることを期待しています。</p> <p>【方法】患者の性別、年齢、検査データ、手術方法、病理診断、進行度、術後経過などの情報から、周術期および術後成績を後方視的に解析します。</p>
<p>■研究期間</p>	<p>承認日から2031年3月31日まで</p>
<p>■研究に用いる試料・情報の種類</p>	<p>血液検査、画像検査データ、診療記録(年齢、性別、手術方法、病理診断、進行度、術後経過)等</p>
<p>■試料・情報の取得と保管方法</p>	<p>本研究の解析対象者の解析情報は、院内のファイルサーバーにて厳重に保管・管理いたします。解析データは研究終了後に廃棄いたします。保管期間は、研究の終了について報告された日から5年を経過した日または研究結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間とします。保管期間終了後は、紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し廃棄します。その他媒体に関しては、匿名化のうえ適切な方法で廃棄します。</p>
<p>■外部への試料・情報の提供</p>	<p>なし</p>
<p>■研究組織</p>	<p>茅ヶ崎市立病院・呼吸器外科</p>

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで、電話またはFAXにてお申し出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒253-0042 茅ヶ崎市本村5-15-1
茅ヶ崎市立病院・呼吸器外科 (研究責任者) 井上 雄太
電話番号:0467-52-1111(代表) FAX:0467-54-0770